

# Party

Vol.18

発行月：平成28年9月

旭川厚生病院広報誌



## 目次

- |                          |                   |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 巻頭言 .....             | 副院長 斉藤 芳儀         |
| 2. ダヴィンチの導入と当院の近況 .....  | 泌尿器科主任部長<br>松ヶ瀬安邦 |
| 3. 連携医療機関・関係機関のご紹介 ..... | 佐藤内科医院            |
| 4. 第9回 総合相談センター便り .....  | 総合相談センター          |
| 5. 第3駐車場の開設について .....    | 事務部（総務課）          |
| 6. 診察予約確認メール呼び出し .....   | 事務部（医療情報課）        |
|                          | サービスのご案内          |



### JA北海道厚生連の理念

JA北海道厚生連は、組合員ならびに地域住民の皆様のご生命と健康を守り、生きがいのある地域づくりに貢献してまいります。

### 病院の理念

私たちは、「最も信頼され選ばれる」病院をめざします。患者さまの権利を尊重し、いつでも安心して受けられる医療の提供に努めます。地域住民の健康を守り、農村・地域社会の発展に寄与いたします。

### 基本方針

1. 患者中心の医療と安全・快適な療養環境をつくります。
2. 高度医療を推進するとともに、総合周産期医療の確立に努めます。
3. 医療機関相互の機能連携を推進いたします。
4. 職員の教育・研修を推進いたします。
5. 経営基盤の強化を図り、健診事業の充実と医療・保健・福祉活動を通じて地域に貢献いたします。

### 患者さまの権利

1. 人権は尊重されます。
2. 適切な医療を平等に受けることができます。
3. 治療方法を選択することができます。
4. 十分に納得いく説明をお求めにすることができます。
5. 医療上の個人情報を守られます。
6. 転院、紹介を希望される場合、必要な情報は提供されます。



JA北海道厚生連旭川厚生病院

## 巻頭言

# 「熱」

旭川厚生病院

副院長 齊藤芳儀



病院には「熱が出た」と言って受診される患者さんが結構いらっしゃいます。熱が出ると身体はだるくなり、何か大きな病気ではないかと心配になりますよね。

ところで「発熱」というのは体温が何度からなのでしょう。そもそも「平熱」は何度なのでしょう。

はっきりわからないヒトの平熱ですが、これを研究した方がいました。1957年と随分古い研究ですが、東京大学の町野教授が東京都の10～50歳代の健康人3,000人を対象に午前、午後、四季を通じて水銀体温計で30分間検温したデータがあり、その結果、平均体温は36.5～37.2℃（平均36.89℃）の範囲に73%のヒトが該当したというものでした。少し年齢が上がった65歳以上の方々になると体温は下がり、平均36.66℃だったとのこと。この結果を見るとまずは37.0℃前後は平熱と見てよさそうです。

ところで体温の日内変動もあり、ヒトの体温は起床時が最も低く、夕方になるにつれて上昇し、その差が1.0℃くらいあります。さらに排卵期の女性ですと起床時の体温は普段より0.6～1.0℃くらい上昇します。ですからそれぞれの方の平熱が何度なかが決めるのは難しく、その方のその日の体調により、0.5℃くらいの差はあるのでしょう。

話は戻りますが「発熱」にははっきりした定義がないと書きました。今はあまり見なくなりましたが、水銀体温計の目盛の37.0℃の数字は赤くなっています。ですから37.0℃

はレッドラインで、それを少しでも超えると熱が出たと心配されるのかもしれませんが。

ある病院では口腔温で起床時37.3℃以上、午後37.8℃以上を発熱の基準としています。別の病院では腋窩温（わきの下の体温）で37.0～38.4℃を微熱、38.5℃以上を高熱としていました。では何度なら病院を受診すれば良いのかと聞かれそうです。

「自宅では体温が38.2℃もあったのに、病院へ来たら37.3℃しかないが、そんなはずはない」とか、「自分の平熱は35℃なので36.5℃はつらいです」とか、様々な方がいらっしゃいます。でも気になさらないでください。医師にとって体温は病気の診断の目安のひとつでしかなく、発熱の他にどんな症状があるかが大切です。

たとえば37.5℃の体温であっても、のどの痛みや筋肉痛、関節痛がある場合、インフルエンザの流行期ならインフルエンザの可能性が高くなります。かぜのような症状のあと、微熱が続き、皮膚に発疹が出て、そのあと関節痛が出現し、手足がむくむとなるとお子さんの罹ったリンゴ病がうつった可能性があります。逆に体温が低くても咳や痰が続き、食事もとれなくなっているようなお年寄りなら、肺炎を疑う必要があります。

今ではほとんどのご家庭に電子体温計があり、手軽に体温を測定できますが、その数字にこだわることなく、気になる症状を順序立ててお話しただけると診断と治療に役立ちます。

## ダヴィンチの導入と当院の近況

旭川厚生病院泌尿器科主任部長 松ヶ瀬 安 邦



平成27年12月末に急遽、当院にダヴィンチXiが導入され早くも8か月が過ぎました。

突然年末の導入決定でしたので、医師・看護師・臨床工学技士の3者でのチーム結成も年を越した平成28年1月中旬から始まり、トレーニング、手術見学、免許取得など急ピッチで進め、通常は半年かかる準備を、3か月足らずで終えて、無事3月24日に第1例目のロボット支援下前立腺がん手術を施行いたしました。

当初は当院でのダヴィンチ導入は旭川で3台目となるため、人口比では日本で一番高密度地区となり、機器導入の高額コストを考えると、多くの手術件数をこなす課題が必然となるため、導入は難しいと思っておりました。今後はダヴィンチ手術が主流となりますので、当院泌尿器科の手術水準の維持は厳しくなるとモチベーションも下がりつつあるところでの、寝耳に水のダヴィンチ導入劇でした。

現在は順調に症例を重ね、7月末時点でダヴィンチ手術件数は前立腺がん症例、21症例（初年度目標40症例）、今年4月からダヴィンチの保険適応となった腎がん部分切除術も前立腺がん手術と併行しながら迅速な準備のもとに、6月9日に第1症例施行、現在7症例を終えています。

話によれば旭川市内でのロボット支援下腎がん部分切除術例は当院が第1例目となるそうです。腎がん部分切除術症例は多くはないので年間予想10例前後と踏んでいましたので、順調に

実績が推移する見通しとなっております。

### 手術支援ロボット ダヴィンチとは

では具体的にダヴィンチを説明したいと思います。アメリカで開発された内視鏡手術支援ロボットで、ロボットといっても、手術を自動で行ったりするわけではなく、手術を行うのはあくまで医師。医師がロボットを操作して手術を行います。日本では2012年4月に前立腺がん初めて保険適応され、今年4月からは腎がん部分切除術も保険適応となっております。

前立腺がんの保険適応から、飛躍的に各病院でダヴィンチが導入され、2016年上期で、日本全国で210台以上（アジアで1位）、北海道で現在14台となっております。

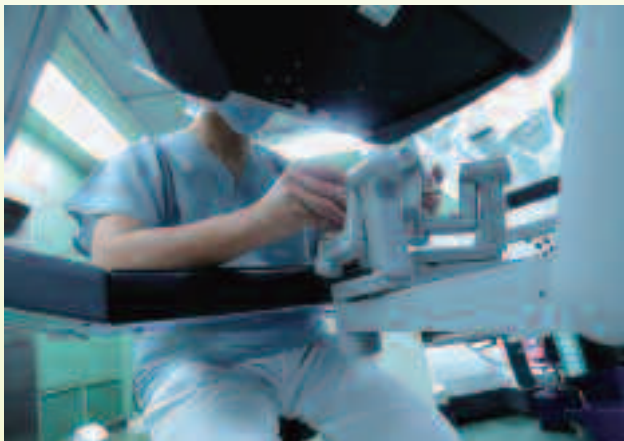
当院はかなり遅めの導入が幸いしたのか、従来の機種より、非常に操作性がアップした最新機種のダヴィンチXiが導入となっております。





Xiが導入されているのは北海道では旭川・帯広厚生病院、札幌2病院、計4台のみです。

4本のアームを持ったロボット本体と操作台、助手用のモニターなどで構成され、術者はケーブルでつながった操作台に座り、中に映し出される3D画像を見ながらアームを操り、患部の切除や縫合をします。



体に優しいとされた、従来の腹腔鏡手術は視野が狭く、器具の操作が難しいため習得に時間がかかるという欠点がありました。ダヴィンチ手術は、術者が3Dモニターを見ながら遠隔操作で装置を動かし、手の動きをロボットが忠実に伝え、動かすことができるため、術者の習得までの期間は内視鏡に比べて遥かに短く、しかも従来不可能とされていた動きを行うことができるため、医師、患者双方にとって“優しい”手術となります。



開腹手術に比べて患者さんの体に小さな穴を開けて行う、傷口が小さい手術のため手術中の出血量が大幅に少なく、術後の疼痛が軽減、合

併症リスクの大幅な回避ができるといったメリットがあり、患者さんの早期社会復帰を促進することができます。

実際、ダヴィンチを操作してみて、切除部分のカメラの接眼効果・拡大による、眼前のような電器メスの止血操作、従来ではできなかった緻密な縫合など、容易かつスピーディーに出来るようになり、圧倒的に手術がやりやすくなりました。

患者さんの術後経過も良好で、平均して約1週間は早く退院できております。

ダヴィンチ手術のメリットは、筆舌しがたいものがあると操作してみて始めて実感しているところであります。



## 最後に

前立腺がんも腎がんも手術適応は転移の無い比較的早期のがんとなります。

進行した時点では、手術適応も良好な治療も出来ないこととなりますので日ごろの検診・ドックなどが早期発見・早期治療にはとても大切です。

毎年、進行がんで初診される方の数は減っているとはいえませんが現状です。

職員さんはもちろん、ご家族、ご親戚の方にも、この機会に、ダヴィンチともども検診などによる早期発見の重要性もお伝えくださると幸いです。

## 連携医療機関・関係機関のご紹介 第9回

### 旭川厚生病院との病診連携

佐藤内科医院長 山下 育子

#### プロローグ 昭和の思い出と経歴紹介 日々歩む

皆さんこんにちは。院長の山下です。当医院は昭和38年に父が現在の場所で開業し23年、私が30年間この地で、お仕事をさせていただいております。幼少のころの話を少し致します。今の地は昔、家もあまり建てておらず一面の田んぼでした。夏には蛍が飛びかい蛙の鳴き声に蚊取り線香のにおい、冬には、毎日雪が降り氷点下20度以下は当たり前。近くには路面電車の追分という名の駅があり深緑色の路面電車が走っておりました。道路は舗装されておらず砂埃が舞っており散水車で砂埃を抑えていたような記憶があります。冬は寒さが厳しく、朝、入院室、待合室のストーブへ石炭（コークス）を炭箱から持ってきて、いれ、凍てついた空気に馬そりのシャンシャンシャンという鈴の音が今でも耳に残っています。そんな時代でした。懐かしい記憶があります。ところで、私の卒業出身大学は、NHK連続ドラマ「梅ちゃん先生」の舞台になった東京都大田区蒲田にある東邦大学医学部です。学部の理念は、「より良き臨床医を育てること。」現在もその目標に向かい奮闘中ですが理想と現実の中、日々試行錯誤の連続の毎日です。

#### エピローグ 治療理念と厚生病院との連携

私が日頃から大事にしていることは患者様を①観る②聞く③触れる、この三つです。待合室から聞こえるおなじみの声、診察室へ入ってこられた時の表情、聴診器の皮膚に触れる冷たさと患者様のお顔の安心感。患者様への腹部触診時の軽い圧痛と心地よさ。加速度的に進化する医療の中で時計が逆回転したような、そんな昭和的診療風景です。しかし、その昭和的な診療から得られる情報を駆使し厚生病院の様々な科の先生方の最新医療技術のおかげで診断と治療が確実性を増していきます。当診療所では1歳から無限に上の方の患者様を診察します。そのおかげで同じウィルス（代表的はインフルエンザウィルス）でも乳幼児、成年、中高年の方々でそれぞれ、症状の発症、経過に様々な変化をみます。あなどれません。小児の軽い風邪も、中には肺炎、胃腸炎で小児科の先生にお世話になることもあります。突発的な腹痛ではもちろん手術になり

外科の先生の手をお借りすることもあります。又、胆のう疾患で消化器内科の先生の手を煩わすことも度々あります。昨年の年末には、心筋梗塞や緩和病棟に入り最後を迎える方、女性の腹痛には婦人科疾患を疑いますが大腸を患っている方も。五十肩と患っていたら腱板断裂症等々でお世話になることも。あらためまして厚生病院様に感謝申し上げます。当院では、介護療養型病床をもっていますので認知症問題も扱っております。開業して31年目に入りましたが日々患者様から教えていただくことがとても多いです。これからも、厚生病院の諸先生方の質の高い医療に支えられ地域の医療駐在所のような役割を果たしてまいりたいと考えております。



#### 佐藤内科医院

診療科：  
内科、小児科

所在地：  
北海道旭川市豊岡  
4条3丁目2-2





第9回

## 総合相談センター がん相談支援センター便り

旭川厚生病院では、患者さんやご家族の不安や心配などの相談に、いつでも対応できるよう総合相談センターを設置し、助産師・保健師・看護師・認定看護師（緩和ケア、皮膚排泄ケア）・臨床心理士・医療ソーシャルワーカーが、それぞれの専門性を発揮し、患者さん・ご家族を支援しています。総合相談センターは、がん相談支援科・地域医療連携科・入退院支援科・医療社会事業科・療養支援科が病床管理機能を持って多職種で構成された組織です。

### 患者さんの声から生まれた「ハートシェア」

家族や友人だからこそ、話せないこともある。心配かけたくない。でも安易に慰められたり、励まされたりすると逆に傷つく。結局はがんになった人でないと「この気持ち」はわからない。でも、一人だと孤独で辛い、病気の事を気兼ねなく話したい、気持ちが分かり合える人と話したい、治療の副作用や日常生活のヒントやアドバイスをほしい……ハートシェアは、そんな患者さんの声から生まれた会です。

がん治療中のみなさん、こんな思い抱えていませんか？「同じ病気の人と悩みを共有できたらいいな」「同じ境遇にある人と語り合える場がほしい」などそんな思いに応えるべく、患者さんとご家族のための語り合いの場が当院にはあります。入院中の方や通院中の方どなたでも参加できます。年8回その月のテーマにより担当者がおりますので安心して参加いただけます。

申し込みは、当院がん相談支援センターへお問い合わせ願います。



「ハートシェア」は、患者と家族同士が語り合える会です



アロマで女子会



ご家族を亡くした人の集い



## 患者・家族サロン ミナミナ ボランティア活動

2008年にがん患者さんの語らいの場として開設した患者・家族サロン「ミナミナ（アイヌ語のにこにこ笑い）」での活動も今年で8年目を迎えます。

当院では、病院ボランティアを受入、その参加活動を通して「患者のQOLを高める」「ボランティアを通じて患者・住民（病院利用者）のご意見や要望を受け止める」「ボランティアを通じて病院の行っていることを地域へ発信する」という意義・目的のもと研修会を毎年開催しております。



ボランティア ワークショップ開催

ボランティアの活動は2年任期で2年目終了時に卒業される方の卒業式と任期が残っておられる方々と病院職員との交流会を通しよき活動を次期のボランティアの方々へ伝えられております。

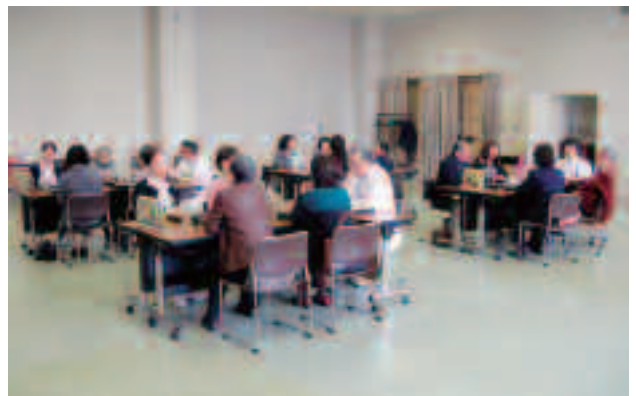


ミナミナ入口



ボランティア研修会

ボランティアの年間の活動について新旧のボランティアのみなさんが一同に会し講義とグループワークを通してボランティアとしてのよりよいサロンの運営や活動についてなど話し合い良好な活動環境を維持・向上に努めております。



ボランティア卒業式と昼食会

ボランティア活動に関するお問い合わせは、2階総合相談センターへお問い合わせください。

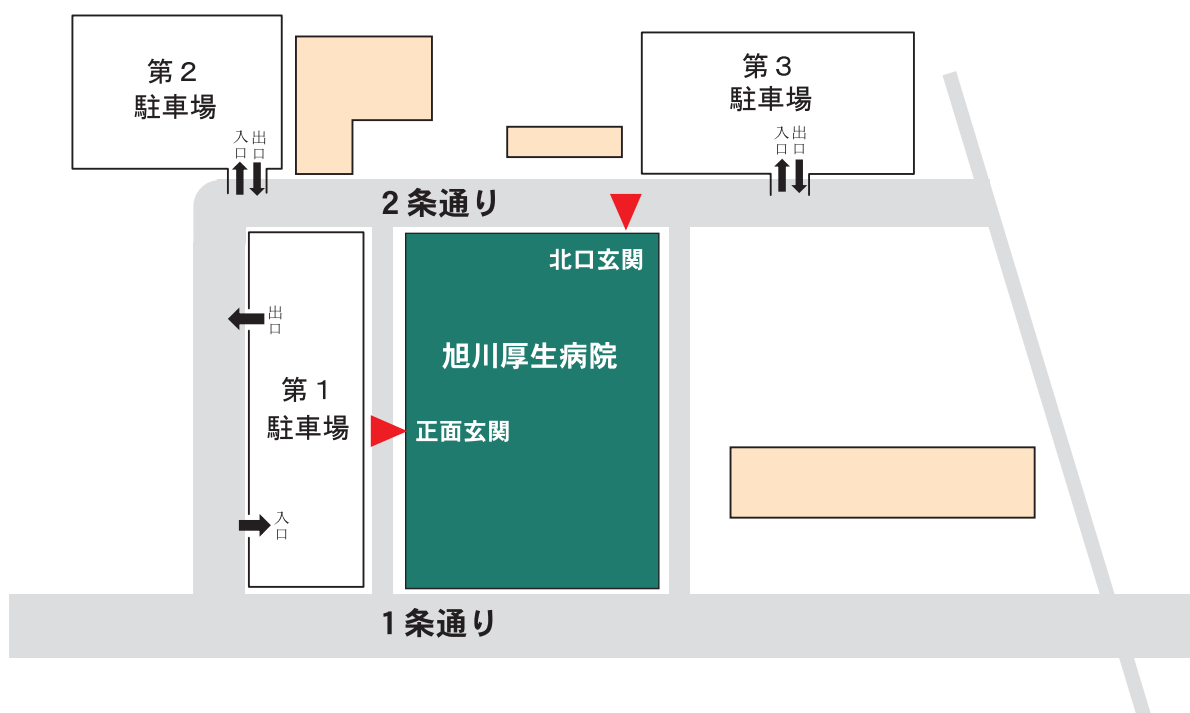
総合相談センター看護部管理副部長 秋本 信子

## 第3駐車場の開設について

従来、当院では慢性的に駐車場が不足しており、特に冬期間は積雪等の影響により、利用者様から「駐車場がいつも満車で入れない」などのご意見をいただいていた経過にあります。

こうした皆様からのご意見を踏まえ、当院では2016年5月30日（月）に北口玄関側（2条通側）の用地に「第3駐車場」を新たに開設いたしました。

第3駐車場の駐車台数は約100台を確保しており、開設により駐車待ちの解消と利用者サービスの一層の向上に寄与するものと期待しておりますので、是非ご利用ください。





# 診察予約確認メール呼び出し サービスのご案内

## ①前日メールサービス

・専用端末にメールアドレスを登録していただくことで、予約患者さまに限り、診察予約日の前日13:00に確認メールが配信されます。

## ②当日メール呼び出しサービス

・自動再来受付機（窓口での受付を含む）で付番された受付番号が診察案内表示盤に表示されると、患者さんのもとにメールが配信されます。

### ●注意事項●

・受診時は、自動再来受付機で受付をお願いします。

・当日メール呼び出しサービスは

**一部の診療科**を除きご使用いただけます。

小児科・神経内科・麻酔科・緩和ケア科  
放射線科・精神科が対象外となります。

メールアドレスの  
登録端末



### 登録端末の設置場所

- ① 1階自動再来受付機
  - ② 2階産婦人科外来
- 以上の2か所に設置!!

### 登録の方法

メールアドレス登録端末に診察券を通し、表示されたQRコードを読み込んで、メールを送信するだけです。

QRコードによる読み込みができない場合も登録は可能です。気軽に職員にお声がけください。

# J A 北海道厚生連旭川厚生病院 外来診療体制表

## 受付時間

新患受付 午前の部 8:15~11:30 午後の部 12:45~15:00  
 再来受付 午前の部 7:45~11:30 午後の部 12:30~15:00

(診察時間 午前の部 8:30~ 午後の部 下記参照) (小児科一般外来のみ14:00~15:30)

- 各診療科ごとに診療体制が異なります。  
 下記表の●が一般外来として受診可能な時間帯です。(△は予約制の一般外来です)  
 (小児科午後の一般外来を受診される方は、新患受付へお申し付けください)
- 特殊外来は予約制です。下記特殊外来一覧をご参照ください。

お問い合わせ 旭川市1条通24丁目111番地3 TEL (0166)33-7171

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
血液・腫瘍内科	●		●		●		●		●	
代謝・内分泌内科	●	△	●	△	●	△	●	△	●	△
呼吸器科	●	△	●	△	●	△	●	△	●	△
消化器科	●	△	●	△	●	△ 特殊外来	●	△	●	△
循環器科	●	△	●	△	●	△	●	△	●	△
神経内科									●	
小児科	●	● 14:00~	●	● 14:00~	●	● 14:00~	●	● 14:00~	●	● 14:00~
外科	●	△	●	△	●	△	●	△	●	△ 特殊外来
乳腺外科	△		△			△		△ 第2・4	△	△
呼吸器外科	●		●		●		●		●	
整形外科	●		●		●	△	●		●	
産婦人科(婦人科)	●		●		●		●		●	
産婦人科(産科)	●		●	特殊 外来	●	特殊 外来	●	特殊 外来	●	
皮膚科	●	● 14:00~	●	● 14:00~	●		●		●	● 14:00~
形成外科		● 13:00~	●		●		●		●	● 13:00~
泌尿器科	●	△	●		●		●		●	△
耳鼻咽喉科	●		●		●		●		●	
眼科	●				●		●		●	
精神科	休診中									
麻酔科	●				●				●	
放射線科	●		●		●		●		●	
緩和ケア科	●	△	●	△	●	△	●	△		

## ●特殊外来一覧

- 〔消化器科〕  
 肝臓(水) 13:30-16:00 (予約制)
- 〔小児科〕  
 慢性疾患(月・火・金) 13:30-15:30 (予約制)  
 予防接種(月) 13:30-15:00 (予約制)  
 循環器(水) 13:30-15:30 (予約制)  
 1ヵ月健診(水) 13:00-15:00 (予約制)  
 内分泌(木) 13:30-15:30 (予約制)  
 発達(木) 13:30-15:30 (予約制)  
 神経(月) 13:30-15:30 (予約制)  
 (木) 8:30-15:30 (予約制)
- 乳児健診(金) 13:30-15:00  
 乳児健診(佐藤Dr)(毎週火・木) 13:30-15:00  
 午後(一般外来) 14:00-16:00
- 〔外科〕  
 ストーマ(第3金) 13:00-16:00 (予約制)  
 ” 【新患可】※  
 ストーマケア(金) 13:00-16:00 (予約制)
- 〔乳腺外科〕  
 乳腺外来(水・木・金) 13:30-16:30 (予約制)  
 (月・火) 9:00-11:30 (予約制)
- 〔産婦人科〕  
 産後1ヵ月健診(水) 14:00-16:00 (予約制)
- 〔神経内科〕 当院で定期通院中の患者のみ、紹介を受付
- 〔放射線科〕 9:00-11:00  
 ※【新患可】以外の外来は予め午前外来受診となります。  
 ※血液・腫瘍内科の診察時間は10:00~(化学療法は9:00~)となります。  
 ※麻酔科の診察時間は9:30~となります。

## 病院案内図



## JA北海道厚生連旭川厚生病院

〒078-8211 旭川市1条通24丁目111番地3  
 TEL:(0166)33-7171 FAX:(0166)33-6075

## ●旭川厚生病院ホームページアドレス

<http://www.dou-kouseiren.com/byouin/asahikawa/>



※PCサイトへ接続されるQRコードの為、うまく表示されない場合があります。